

# わた もうきんるい 海を渡る猛禽類 ～サシバ～

著者 一日一種  
(イラストレーター・漫画家)

## サシバってどんな鳥？

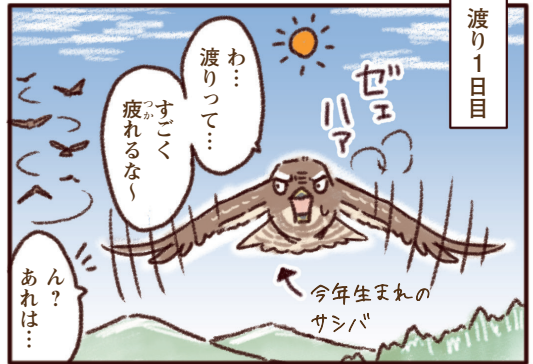
漢字で書くと「差羽」。名前の由来は諸説ありますが、一説によると「差」は獲物を追って真っ直ぐ飛ぶこと、「羽」は鳥を意味するようです。



全長：約50cm  
(カラス程度の大きさ)

春に本州以南に渡来し、繁殖して、秋になると群れをなして南方へ渡る

秋の渡りは9～10月ごろ



## サシバは日本の里山環境の指標種

サシバの主な餌はカエルやヘビ、昆虫類などの小動物。里山の谷津田には、これらの餌動物が豊富で、空間的にも狩りがしやすく、周囲には営巣できる林があるので、サシバがよく見られる。



サシバは、日本の里山環境の指標種と言われ、サシバが息することは、生物多様性が豊かな里山環境があることを意味している。サシバを守ることは、里山の生態系を守ること。

